

定例会の実施

11月19日（木）、今年最後の定例会を市立福祉会館2階講座室で実施した。

冒頭で、奥田会長から、

『年末年始にかけて新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、例年以上に困窮世帯の増加が見込まれる。そのため福祉委員及び民生委員児童委員の会議等に継続的に参加し、社会貢献事業の活動状況の報告を行い、生活に困っている世帯を見かけた時の一助として、これまで以上に活用してもらえらるるよう啓発していきたい』と話があった。

市生活支援課の雑賀氏・野口氏からは、生活困窮相談状況と生活保護世帯の内訳や傾向について、報告があった。

住居確保給付金が現状最長9か月ということもあり、令和3年1月以降生活保護の相談が増えることと予想されること、保護世帯の若年層に一定数、継続した就労が難しい方がいるという報告に、出席した会員の多くが関心を寄せられた。また、社協からは、今後予想される困窮に陥る世帯の情報を多方面から捉えるため、市の保険年金課・税務課・水道局から滞納状況等の過去3年間の実績（事前に依頼していた情報）の報

告があった。今後の生活困窮世帯への迅速な支援には、会員施設・市・社協の連携が欠かせないということを確認した。



定例会の様子

社会貢献事業の啓発

の影響を受けて、さらに増加すると予測される困窮世帯を支援するための啓発活動として、11月18日民生委員児童委員協議会、11月25日福祉委員会連絡協議会にて社会貢献事業の説明を行った。



民生委員児童委員会での説明

社会福祉施設連絡会では、福祉施設による社会貢献として、困窮世帯へ現物支給での支援を行っていることを説明し、日頃の活動の中で一番身近にいる民生委員児童委員・福祉委員の気づきに誠実に対応していきたいことを伝えた。



福祉委員会での説明



今後も両協議会の会議への出席や啓発を続けていきたい。

社会資源マップの進捗状況

が発行の準備を進めている『藤井寺市社会資源マップ』。令和3年2月の発行を目指して、藤井寺市社会福祉施設連絡会として、会員施設の紹介記事等に協力を続けている。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、不要不急の外出を控えるように迫られる中、支援を必要とする市民にいかに分かりやすく、いかに正確な情報を伝えることが出来るか。その課題の解決の一つとして、今回のマップの活用が上げられるのではと考える。完成後は、地域福祉の最前線で、日々活躍されておられる福祉委員会、民生委員児童委員会、区長会で報告するとともに、社会貢献事業の啓発・普及に努めていきたいと考えている。

会員施設各位

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、各施設では感染防止の対応に日々追われていることと思われる。どうか、会員施設の職員の皆様が体調を崩さずに、また互いに協力し、励まし合いながらこの年末年始を乗り越えていただきたいと願っています。

現在の定例会

令和3年2月25日

午後2時～@福祉会館



藤井寺市社会福祉協議会

